

一里塚 無所属 田村栄子

久喜市議会議員

第38号

久喜市議会
会派フェニックス

連絡所 349-1117 久喜市南栗橋 5-11-7 TEL 0480-52-8240 FAX 0480-55-1124
<https://ameblo.jp/tamura-eiko-kuki/> <http://tamura-ek2.matrix.jp/>

暮らしと政治を結びます！



今夏は気象上、異常続きでした。経験したことのない猛暑、豪雨、大型台風等でした。その上、防災無線で竜巻情報の多かったことなど、異常 ずくめでした。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

9月定例市議会開催

9月議会日程は9月3日から9月28日でした。この間、本会議の中で、全員協議会（各種報告）、市長議案に対する質疑、議員提出議案に対する質疑、議員による市政に対する一般質問が行われました。

全員協議会説明より（市から議員への報告）

「久喜市新ごみ処理施設および（仮称）本多静六記念市民の森・緑の公園」

一体整備プロジェクトチームを設置 - 交流人口の増加を狙い集客施設を検討

市は人が集まり賑わう市のシンボルとなるような公園や施設「魅力ある集客施設」を目指しごみ処理施設の余熱を利用した施設と公園の一体整備を進める計画です。このため市民参加のプロジェクトチームを発足しました。また、現在のごみ処理施設が老朽化している

ため、葛蒲地区に新施設を建設する計画を久喜市は作りましたが、その後幸手市と杉戸町より共同処理の協議申入れがあったので、今後再検討予定です。国や県はごみ処理施設の広域化を推奨。



田村栄子
久喜市議会議員
総務財政市民常任委員会、
予算決算常任委員会、議会
広報委員会、情報コミュニ
ケーション（ICT）委員会の
各委員会に所属
大阪府豊中市出身
武庫川女子大学卒
南カリフォルニア大研修
各種専門学校講師
大妻女子大学講師 歴任



静御前まつりが栗橋
で盛大に行われました

あおば保育園移転改築事業

事業計画を見直し再検討した結果、保育園への需給の観点や保育環境、交通安全対策面に鑑み移転改築は見直しとなりました。

あおばっこクラブ（放課後児童クラブ）の

移転改修事業は、これまでの改修工事計画を見直し、予算上約7,600万円減額して青葉小学校内で実施する予定になり開所時期は平成31年11月に変更となりました。

学校給食調理施設の整備方針について

新市長は「計画を一度立ち止まって再検討すべき」との方針を示していましたが、再検討の結果整備方針を決定し東京理科大学跡地に1万2千食規模の学校給食センター



東京理科大学跡地

を建設する方針となりました。併せて地産地消推進や食物アレルギーの対応食の実施を重点取組む方針。学校給食センター建設の主な理由は、自校食方式はコストがかかる、また場所的に他に適地はなかったのが主な理由です。

元の計画案を踏襲するのであれば、

自校給食の良さもあり、現行自校給食方式を採っている栗橋小学校と栗橋西小学校は是非とも残すべきと思います。

済生会栗橋病院 の移転問題

済生会栗橋病院 加須市に移転決定！！

栗橋には25床が残るが、再整備案は白紙の状態。

住民にとって望ましい姿の整備を願います！！



久喜市長と病院長との間で本年7月10日に意見交換が持たれ、済生会栗橋病院の加須市への一部移転が報じられていました。その後の8月28日に栗橋病院長より久喜市長に説明があり、現在の済生会栗橋病院の329床のうち304床を加須市に建設予定の新病院に移すことに決定となりました。また、現在地の栗橋病院の再整備案はベッド数が確定しない状況では難しい。25床が残るが再整備案については見通しがまだない状況です。

住民が望むのは、栗橋地区に診療所が減少している現実のなかで少なくとも、紹介状なしに外来通院ができる医療機関、初期救急ができる医療機関が必要と考えられます。久喜市全体の診療所数は足りていても交通手段の問題があり、地元へ徒歩で通える診療所が欲しいです。

済生会栗橋病院は、行政（旧栗橋町）が各方面に働きかけやっとの思いで誘致に成功したものです。住民のたつての願い病院の存続を願います。その病院本体部分が移転することになっても建物は残ります。有効に生かすことと現在地に住民が気軽に通える医療施設の再整備を願う！！
このためにポートピアからの寄付を原資とした継続援助以外に本市からの援助も必要なのではないでしょうか。

田村栄子 の議会質問

一部抜粋 構成

議会では、毎回皆様の声を代弁して質問しています。市民の元気につながる質問をしていきたいと考えます。「こんなこと聞いて欲しい」という方はお知らせ下さい。



平成 30 年 9 月議会は 9 月 3 日～ 9 月 28 日まで行われました。(9 月 7 日田村栄子の議会質問)

済生会栗橋病院の移転問題

済生会栗橋病院（以下同病院と略）の移転問題は地元栗橋住民・久喜市民にとって重要な問題です。栗橋地区は診療所が減ってきており、さらに同病院の移転は住民の不安を加速するものです。そこで 9 月議会で以下の一般質問をしました。

質問 済生会栗橋病院の今後は

- (1) 済生会栗橋病院の移転問題その後の状況を伺う。
- (2) 本市は同病院の現在地で存続（移転白紙撤回）と第三次救急（救命救急センター）開設を従来から主張しているが、現実にはその逆に向かっている。要因をどう捉えるか。対策をどう考えているか。
- (3) 久喜市は病院への財政支援を第三次救急開設を目指すことを前提に行うことにしている。なぜ第三次救急なのか。市民ニーズとの兼ね合いはどうか。
- (4) 栗橋地区は診療所が減ってきており、市民は同病院に外来診療、一般外来ができる病院を望んでいる。市長は「地元住民の声を大事にする」とある

回答（健康増進部長）：要約

加須市に新病院ができ栗橋病院のベッド 329 床のうち 304 床の移転予定となった。栗橋地区の病院には 25 床が残る。この地区での再整備案は白紙になった。理由は救命救急の専門医が見つからないこと、回復リハビリの専門スタッフ

が、市民の要望をどのように受け止めるのか。

- (5) 仮に同病院の本体部分が加須市に移転し、現在地（栗橋地区）に一部機能を残すとした場合、久喜市の地域医療の確保と進展のために、現在地での再整備の望ましい姿を示されたい。
- (6) 現在地に同病院側が考えていた地域包括ケアシステムを実現させるにしても、久喜市からの相当の支援が必要との見解がある。栗橋地区の医療確保の上からも久喜市が支援を行わないと病院本体のみならず「一部機能」まで失うことになりかねない。市の見解を伺う。

回答（健康増進部長）：要約

などの人材確保が難しいこと、再整備案の実行には初期費用が非常にかかることなどである。財政的に非常に困難であることが主な要因。

再質問 今後の予定の考えを伺う。住民ニーズを考えてプランを練り直し、病院へ整備支援が欲しい。

回答（健康増進部長） 今後、残った 25 床をどのような形で利用し栗橋の地域医療を存続できるかを、市民が一時的に外来にかかるといった案も含めて、考えを提案しながら、済生会とともに検討努力していきたい。

市長回答 再整備案は一旦白紙は事実ではあるが、済生会も

現在地でまだ 3 年は医療を継続するのでその間、久喜市は同病院としっかりと連携をはかり、今後の地域医療存続に、向けた形で全力であらゆる可能性を模索し、地元の人に安心していただけるような医療体制を構築していきたい。

久喜市の組織編成後の市民サービス

質問 久喜市役所は新市制後、新行政組織となりほとんどの部署が本庁へ移動した。このため、問題によっては地元でこれまでのように支所に行き気楽に相談することは無理となった。さらに本庁舎へ出向くには交通手段の問題があり利便性も悪いという声がある。サービスを受ける側の不便さを解

決する方法の一つに、各支所に出前窓口を週 1 回置くことはいかがか。

京都市では市民の相談がいつでも受けられる経験豊富な職員を相談窓口置き、広範囲のことについて電話相談もできるようになっている。

回答（総務部長） 行政課題が今多面的に出ているので今後見直し検討し限られた人員のなかでより良い組織に進化させていきたい。

防災への取り組み

質問 災害が差し迫ったときに夫々の地域に合った的確な情報を出すことが喫緊の課題。そのため職員の中で質の高い防災専門スペシャリスト例えば防災士等を養成し各支所に配置を提案。また避難情

報の確実な伝達が必要だが、年配者など災害弱者に伝わらない場合もあり対応を伺う。防災ハザードマップをわかりやすくし、さらに危険度等用語の意味の誤解のないよう周知を願う。

回答（市民部長） 災害時は市職員が各地域で地域防災活動に従事できないことから防災士の資格取得は考えていない。他方資質の向上のため、消防庁・内閣府、県の研修に参加さ

せることで人材育成に努めたい。ハザードマップ等の市民理解をひろめたい。新しいものを他市の先進事例などで良いものに見直し作成中なので、できるだけ市民に応えたい。

意見 異常気象の連続で災害の到来する確率が高いと予想されます。これまで市は職員の短期間のローテーションが多く、時間を要する専門家が育ちにくい環境にありました。これからは極力住民の安全を確保するため専門家をおいて対処すべきではないでしょうか、時間をかけてでも育てる必要があるのではないのでしょうか。

高齢者大学の今後の進め方は

質問 講義の場所並びに駐車場の確保が難点。講義の内容も受講者の意向をもっと取り挙げてほしいとの声がある。特に音楽の民謡部門であるが、久喜

市以外のものより、久喜市内地元の例えば栗橋地区の栗橋音頭、南栗橋音頭なども入れて欲しいとの声がある、いかがか。

回答（教育部長）

駐車場は狭いので公共交通機関の利用を奨励している。カリキュラムは毎年見直しており場所も中央公民館以外現地もある。久喜栗橋ゆかりの作詞家高橋郁氏についても作品を紹介している。新たなカリキュラムも受講者の意見を取り入れる。